



ごあいさつ

地域学校協働本部長 久保寺 靖彦

こんにちは! 本年度より地域学校協働本部長を務めさせていただきます久保寺靖彦と申します。

地域学校協働本部と申しますのは、学校・地域の連携協力によって、地域全体で子供たちの学びや成長を支えていく活動です。子どもたちが安心して楽しく学校に通えるよう、お手伝いしていきたいと思ひます。

地域学校協働本部という呼称が少々苦しいので、数矢小学校では「かずや応援団」と呼んでいます。

どうぞご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

地域学校協働本部

(かずや応援団)とは

平成29年3月に社会教育法の改正により「地域学校協働活動」が法律に位置付けられました。東京都では平成20年度から取り組んでいた「学校支援地域本部」を基盤に整備を進めています。「地域学校協働本部」は、学校支援活動をはじめとして幅広い地域住民の参加を得ながら「学校を核とした地域づくり」を目指すための「仕組み」です。

数矢小学校では、この取組を平成27年度から始めました。「かずや応援団」は地域の方々の力をお借りしながら、数矢小学校を支援(応援)しています。

<https://www.city.koto.lg.jp/583210/kyou dou.html> 江東区 HP「地域学校協働本部事業」

かずや応援団の活動



花いっぱい活動

校庭の周りにお花の植栽コンテナを置き、理科の授業支援などの活動を行っています。

2023年11月12日には、参加者を募り、有志の親子14組にご協力いただき、卒業式、入学式シーズンに向けて学校が華やかになるようにプランターに花の苗植えを行いました。

今後もこのような活動を通して、土に触れる機会、親子いっしょに苗を植えるといった機会を作っていきたいと考えています。その際はぜひご参加ください。

ICT サポート活動

昨年は学校のホームページの更新マニュアル制作をいたしました。今後も活動のベースとなる環境づくりなどに取り組んでいきます。今回から、かずや応援団だよりも「すぐる」にて配信することになりました。よろしくお願いいたします。

図書ボランティア

詳細は次のページをご覧ください!!



図書ボランティア

～はじまりのお話～

きっかけは、ある子どもが借りてきた1冊の本でした。

その本はとてもボロボロで読み進めると、なんと最後のページが無くなっていました。

その頃の図書室は古くて埃だらけの壊れた本ばかりでした。その子の母親は本の修理と、本の読み聞かせをすることを学校に提案しました。

まもなく耐震工事が始まり図書室は使用停止に。そのため、工事が終わるまでの期間、朝学習の10分間を利用して『読み聞かせボランティア』をスタートし、多くの保護者がボランティアに参加しました。工事が終了して図書室が使えるようになったときに、最初に提案をしてくれた母親を含む3人を筆頭に現在の『図書ボランティア』が発足しました。平成20年のことです。

本の掃除、修理、本の分類方法など、必要なことを考え次々に実行しました。初めは約40人体制で週2回、班に分かれてエプロンにマスク、軍手の格好で数ヶ月間、手が真っ黒になるほどの作業が続きました。

図書のバーコードが導入されると、本にバーコードを貼ったり、強度を保つためにブックカバーをかけました。また、蔵書数はたくさんあるものの古くて壊れている本が多かったため、年2回、廃棄本をいただきに江東図書館へ数年通いました。こうした図書ボランティアのたくさんのアイデアにより、図書室は明るく子どもたちにとって利用しやすい場所になりました。

その後、司書の先生に来ていただけるようになり、現在の活動内容は、司書の先生のサポート、寄付本などを用いた全クラスへの学級文庫の設置・維持管理や図書室の季節の飾り付け、絵本や紙芝居の読み聞かせ、テーマ本の展示などが主になっています。皆さんも一緒に活動してみませんか？図書室でお待ちしております！

活動日：毎週木曜日 10:00 ～ 12:00 場所：4F 図書室

かずや応援団

図書ボランティア 募集中！

保護者有志で運営するボランティアです

時間・場所

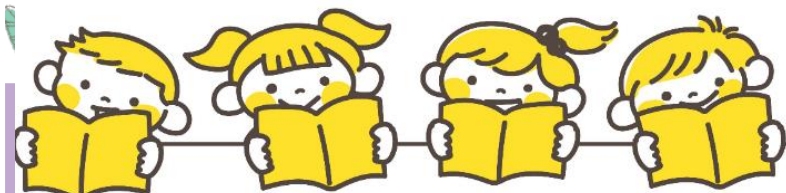
毎週木曜日
10～12時
4階 図書室

活動内容

蔵書整備
室内装飾
読み聞かせ
学級文庫整備
など

ここがおすすめ！

子どもたちと
触れ合いながら
できます！



https://line.me/ti/g2/aS98oriTgev28KDSrDJ_Xawnlw1BugaqJemchg

参加コード：kztb2024

詳しくは、右のQRコードまたはアドレスよりLINEオープンチャットまで、ご連絡ください。

